

## 平成 22 年第 5 回理事会 会議録

規約第 16 条の規程により会議録を調整する。

(1) 会議の期日	平成 22 年 8 月 28 日 13.00～17.05
(2) 会議の場所	さいたま市大宮市民会館会議室
(3) 出席及び欠席者の氏名	出席者 23 名、欠席 1 名
(4) 会議に付した事件及び議事の経過	別記

### 会議に付した事件及び議事の経過

司会・開会のことば	司会・小原副理事長、開会の辞・石井副会長
会長あいさつ	八木会長
理事会成立宣言	理事 23 名の参加で成立宣言
議 長	黒澤理事長
書記の指名	事務局 秋元事務局次長
議事録署名人の選任	渋沢英明(深谷市)理事・羽鳥修(羽生市)理事
<p>会議に付した事件及び議事</p> <p>○諸般の報告</p> <p>八木会長・平成 22 年 6 月 29 日、平成 22 年第 4 回理事会以後の協会業務の主な執行状況を報告する。</p> <p>理事会から提案され、検討事項になっている事案について報告します。</p> <p>一般質問で提案された大会の下見問題については、新春大会及び埼玉県グラウンドゴルフ上級試験及び日本協会 2 級・3 級試験、そして同時開催の上級指導者交歓大会の二事業について実施することといたしました。来年度の大会については協会の方向が決定されており、実施する時期や概要については、今後の運営会議で実施要綱をつめますので、その後(来年度に関しては下見をしない)実施することをご了承ください。</p> <p>理事会担当の事務局員を委嘱する事に関しては、規約第 29 条及び細則第 26 条並びに第 30 条の 5 にのっとり理事長と協議した結果、奥村登美子氏を委嘱する事としたのでご了承願います。</p> <p>7 月 6 日に指導育成委員会研修会として、2.3 級上級試験の評価反省をかねて委員会メンバーの懇親を深める事業として熊谷市ヘリテージで開催をいたしました。懇親会のメンバーは 20 名で、県内で開催したこの事業についての「反省と意見」をいただいた。今後の事業に活用します。</p> <p style="text-align: right;">以上が概要です。</p> <p>○一般質問(概要)</p> <p><b>通告 1 番 野本 美明 理事</b></p> <p>件名 1 埼玉県グラウンド・ゴルフ協会役員及び評議員の選出規定の見直しについて。</p> <p>要旨 1・第 8 条 4 項理事定数 25 名以内を 30 名に改定する考えはないか</p>	

要旨 2・第 3 条新たに役員になれる人の年齢は 75 歳までとする事の見直しについて

要旨 3・関東地区、会員数第 2 位の愛知県の理事の定員はどうなっているのか。

答弁・八木会長・田中事務局長

- 1.各地区又は現状で余裕がある場合は 2 名の増員が可能であるので、増員は検討していない。
- 2.75 歳に関しては現規定で問題はないと考えている。今後中期計画で検討はする。
3. 関東地区理事数に関して、県協会の組織が異なるので、現在の段階で承知していない。愛知県は調査していない。(田中事務局長)

三谷・議事進行、関連質問がある。

議長・質問者以外の関連質問は認めない。一般質問とは、特定の理事に与えられたものであり、理事は質問答弁を通じて理解を深めるものだ。

### 通告 2 番 小原 孝 理事

件名 1 理事会における席の配置について。

答弁・八木会長

- 1.席次については理事長が理事と協議の上に決定したものです。

会議場では私(会長)から提案する事件を中心として、理事からの議案の提議等、理事会の議事運営を最もわかりやすい状況で把握する必要があり、議長である理事長と理事が対面で着席しております。

理事会は理事により構成されております。議長である理事長と理事との議決機関であります。理事長は、会議場の秩序を保持し、議事を整理し、理事会の事務を統理し、理事会を代表しますが、会議とその権能については、地方自治体における議会の位置づけ、議決と執行のあり方と同様であると理解しております。

### 通告 3 番 並木 秀夫 理事

件名 1 ホールインワン基金について、基金の扱いについて県協会が一括ではなく、各地区協会での需要があり、地区に還元したらよいと考える。

答弁・八木会長

- 1.日本協会が創立 20 周年記念行事として、高齢者福祉等への支援を目的に設立したホールインワン基金の趣旨で行っている。基金の収支内容については総会資料で確認してほしい。再質問・登録団体に募金活動をしない、基金に協力しない不公平な状況があるのはおかしい。石井副会長・基金活動をやっているのは 40%、やっていないのは 60%が状況だ。基金については今後の検討課題としたい。

件名 2 協会以外の外部大会については、外部大会を否定しないが、そのために協会に加入しないのが問題。会員減少組織との関連もあるのでは

答弁・八木会長

- 1.外部大会の趣旨、目的が明確でない。今後も継続して活動が展開されるのか一過性なのか注



視して行く。

2. 予想される会員減少の原因は①会員の高齢化に伴う行動範囲の減少。②年金支給年限の延長に伴う就業時間の延長③団塊世代の将来不安等が想定される。

再質問・会員減の理由は他にもある。地域では減少して新規団体の加入があり、既存団体は減少しているということだ。何のための協会か、もっとしっかりしろと申し上げたい。

石井副会長・協会としても心配している。

#### 通告4番 吉村 正宏 理事

件名1 マスター資格取得の審査はどのように行われているか。

要旨1・資格取得の会員数又は地域に割り振り、平均化を目指すべきだ。

要旨2・資格取得に対する年齢制限はないのか。

答弁・八木会長

1. マスター資格取得の審査は「選考委員会(会長・ゴールドマスターで構成)」があり、5名で日本協会への推薦を行っています。毎年の埼玉県割り当て人数は2名で、会員数に応じ更に2名の枠があり、市町村の推薦により選考委員会が日本協会へ報告しています。

2. 今後はマスター資格取得者が各地区平均化され普及活動の活発化を図ることが必要と考えております。

3.(社)日本グラウンド・ゴルフ協会指導者制度では年齢制限はありません。

再質問・西部地区は資格取得者が2名であり、地域的な配慮が必要。

資格取得の時期はどうなっているのか。

石井副会長・地域的な配慮は協会としても考える。時期については通知を出していない。

(概要答弁のみの議事録とした。13.50・暫時休憩 14.00 再開・一般質問は一時間)

### 1 協議事項について

#### ①関東大会開催要項骨子について

説明、石井副会長・開催概要が決まらなると準備作業に入れない。平成23年9月27～28日  
会場は熊谷市、参加人員1792人で地元として600人を予定。参加費は3000円と全体の開催基幹項目について了承を得たい。

質疑もなく採決した結果、挙手全員で承認。

#### ②関東大会実行委員会について

説明、石井副会長・主催は日本協会であるが実施は県協会が運営することとなる。承認をいただいた関東大会の開催規模から推定して実行委員会の役員135名程度を予定している。  
理事と専門員の重複、一人一委員会の実施等改選期の混乱を超えて実現していく。

質疑もなく採決した結果、挙手全員で承認。

#### ③関東大会予算について

説明、石井副会長・関東大会の予算書では県協会及び広告料収入とも65万円を予定している。

総額は8,076,000円となる。

小原・高齢化に伴いバス利用について検討すべきではないか。

石井副会長・シャトルバスを含めて公共交通機関にて対応したい。

岸・消耗品費、役員弁当費に積算の錯誤がある。

野本・大会事業予算が少ないなら、市町村協会に寄付を求めたらいかか。

石井副会長・単価及び個数の見積もり錯誤だ。寄付については、検討はしてみる。

議長・関東総会会議費収入は50万円で、支出は100万円だが問題ではないか

石井副会長・参加者のヘリテージ宿泊費と総会、懇親会、プレー代を予定している。

質疑を終了し採決した結果、挙手全員で承認。

#### ④平成23年度行事予定について

説明、石井副会長・平成23年度予定の事業計画についてその概要について説明。

並木・秋季大会北川辺渡良瀬総合グラウンドについて、加須市の協会には何の連絡もない、決定され、発表は困る。何も聞かないで作るからこうなるのだ。地元の協会としては困る。

荒巻委員長・北川辺の当時の担当者と交渉し理解を得ている。

八木会長・荒巻委員長の報告どおりお話は通したようだか、双方に見解の相違があるようだ。

並木・だめだといえば反抗しているように見えるし、やる事になるだろう。

決め方の順序が出し抜きであり、順序が問題だ。

八木会長・今後ないように進めたい。

三谷・上級認定試験及び研修会の日程は指導者育成委員会で決定していない。日程の変更等は誰が決めたのか。

鈴木育成指導委員長・今回ヘリテージの反省会で話し合いは行った。この内容については運営会議に報告し、反省会に基づいて二つに分けて話し合った。交歓大会は県外、上級試験関係は県内、運営会議の協議の中で執行部案として決定したものです。

三谷・いきなり出てくるのはおかしい。再度、指導者育成委員会で検討してほしい。

八木会長・「あさや」での成功体験があり、下見がなくとも関係なく開催できるから私の提案とした。

議長・議案を良く検討する必要があると考えられる。決定については次回の理事会でも間に合うことから、この協議事項については「保留」の処分として、良く再検討し、次期理事会まで保留としたいが理事の判断はいかか。

質疑の後、保留処分・継続審査とすることで一致する。

#### ⑤役員選考委員の選出について

説明、八木会長・役員任期満了に伴い、次期役員を選任について選考委員会の設置と候補者の選任をお願いしたい。

補足説明、黒澤議長・規約の上では正副会長の選任と正副理事長の選任が選考委員会に課せられている。正副理事長の選任についてはこれから新年度の理事が内定する。その人事



を待たないと理事の互選とならないので、内定後の理事候補から選任せざるを得ないので、後回しとして、今回は正副会長の選任を優先して進めるということで了承していただきたい。

議長・どうい方法で選任いたしますか。

並木・全部の理事が投票で決定すればよい。

渋沢・前は四地区から一名づつ、理事事務局長の五名だったが今回も同じでよい。

筑肱・選考委員立候補が良い。

議長・三案が出てきたが今回はこの中から理事全員の合意で選任方法を決定したいがいかがか。

全員異議なしで承認。

議長・暫時休憩し理事の協議としたい。(16.15~16.45)

議長・四地区から一名づつと田中理事で選考委員会を構成する。ご了承ください。

選任方法については無記名投票とし、投票用紙に東西南北四箇所の理事に○印を記入します。採決は数の多い人を当選者とし、同数の場合はくじ引きとします。

投票の後・開票(事務局開票)

議長・小原孝理事、吉村正宏理事、磯野富次理事、渋沢英明理事、田中理事・事務局長と決定しました。

無記名投票の結果承認決定される。(集計表は別記)

#### ⑥中期目標検討について

説明、八木会長・「楽しい協会」を目指します。概要は前回と同じですので省略いたします。

質疑省略し全員異議なしで承認。

## 2 報告事項について

### ①各専門委員会報告事項について

説明、指導者育成委員会、ルール等委員会、競技運営委員会、広報委員会、

IT委員会は8/20講習会の結果について資料とともに報告。

日本協会の藤井交歓事業委員から関連報告。

質疑省略し全員異議なしで承認。

以上で終了 17.05

添付資料	理事会資料・一般質問通告書・事務の合理化講習会報告書(IT委員会)・平成22.23年度(社)日本グラウンド・ゴルフ協会役員名簿・選考委員投票用紙(投票後)
閉会のことば	議長が閉会宣言

選考委員候補者投票用紙及び集計表 (別紙)

選考委員に推薦する人を 東西南北から各一名 ○印すること

(投票総数 23 名・有効投票 21 名・無効棄権 2 名)

東部	並木 秀夫	5
東部	小原 孝	9・当選
東部	川上 トサ子	1
東部	三谷 良明	1
東部	筑肱 金次	
東部	野川 保	4
東部	羽鳥 修	
東部	野本 美明	
東部	田中 久	1
西部	河本 守	3
西部	稲葉 小一郎	7
西部	吉村 正宏	11・当選
南部	磯野 富次	9・当選
南部	渡辺 健二	
南部	小川 清	3
南部	菅原 睦男	5
南部	綱川 善夫	
南部	石井 貞雄	1
南部	黒澤 健一	3
北部	金井 貞男	3
北部	笠井 健次	3
北部	渋沢 英明	10・当選
北部	島田 邦彦	2
北部	藤井 範子	3

平成 22 年 8 月 30 日調整

会議録は適正であります。

署名人 渋沢 英明 理事 印

署名人 羽鳥 修 理事 印